

1



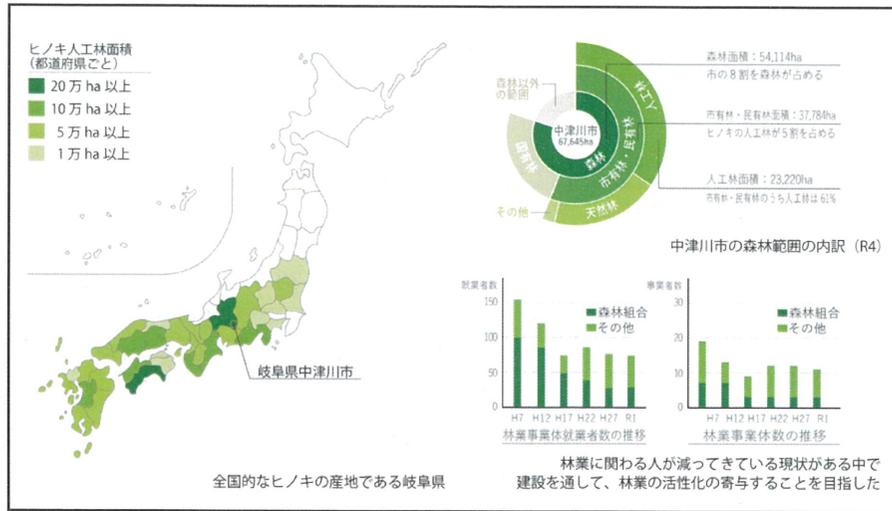
2



3



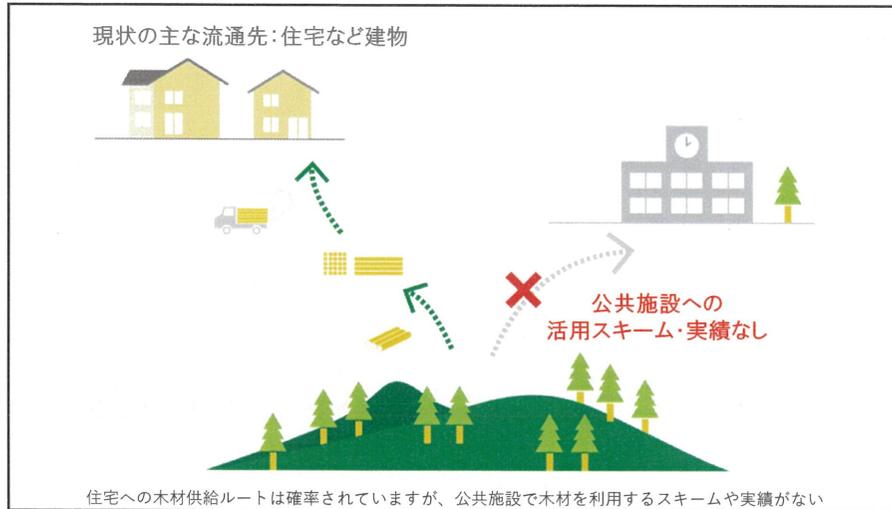
4



9



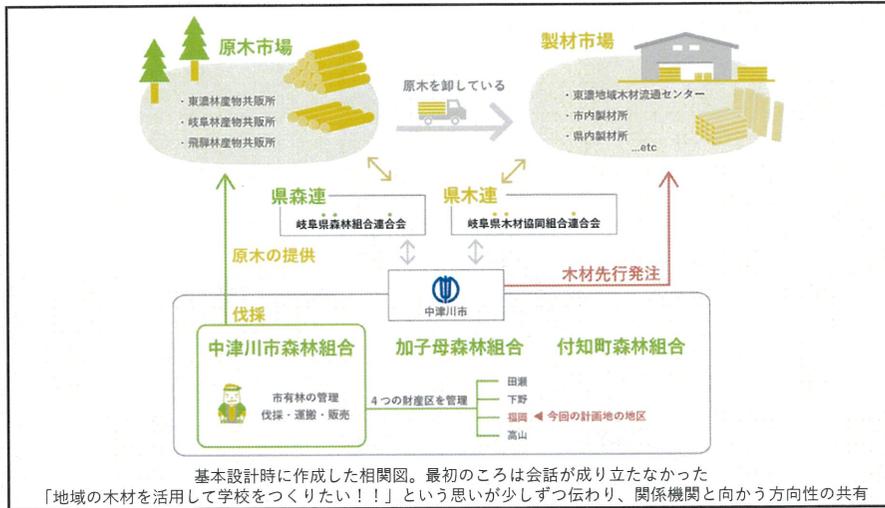
10



11



12



13

地元の木をたくさん使いたい。
どうしたら確実に地元に木が集められるか。

木材調達を工事と別にして地元の人に集めてもらえば実現できる!?
かも。。。でも事例がない

今までにないシステムを作れるのか!
課題は山積み 木材調達のみ発注できる予算計画ができるか。
調達発注仕様書の内容はどうすればいいか。
木材調達のリストは実施設計と平行作業か??

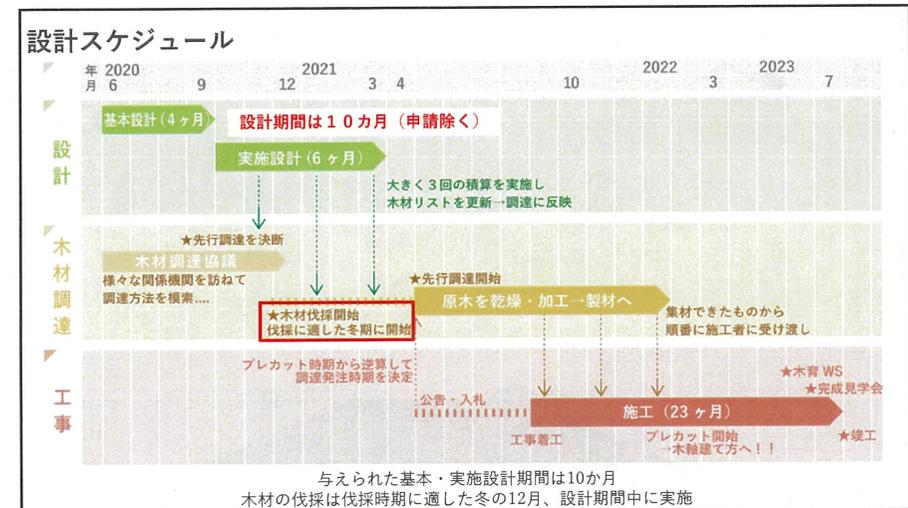
石本から木材先行調達を提案し、市や関係機関が一緒になって「やってみよう!!」

木材先行調達を決断!

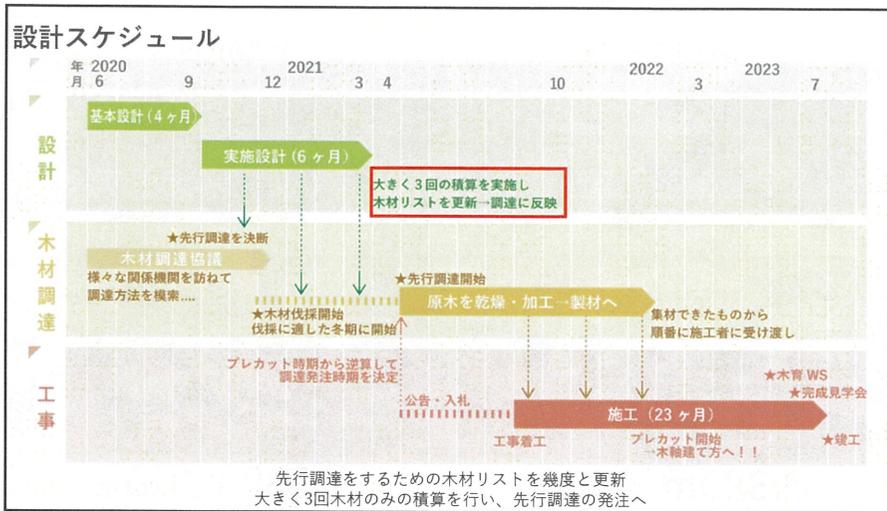
14



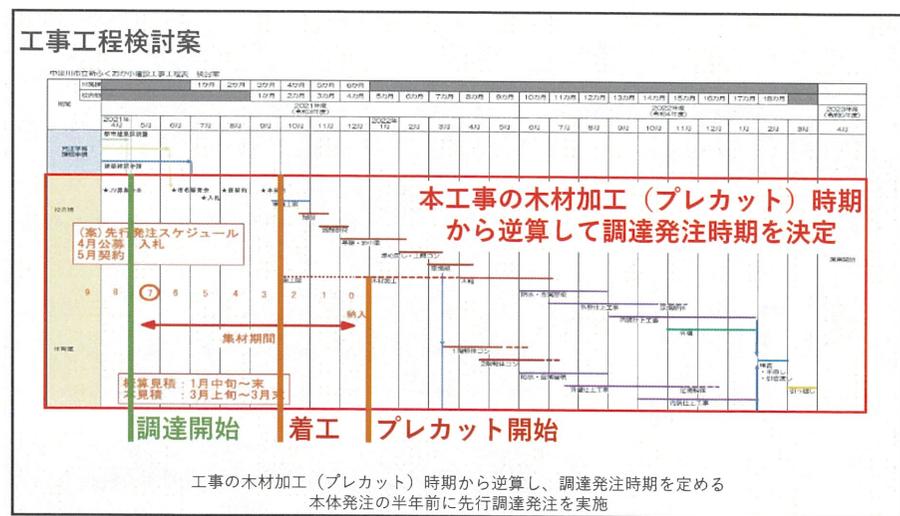
15



16



17



18



19



20

木材総使用量：1,124m³

事業年度 令和4年度
 事業名 木の香る快適な公共施設等整備事業
 事業実施主体名 中津川市
 木材総使用量 1124.69m³ ぎふ証明材使用量 946.24m³
 JAS製品等使用量 812.08m³

施設名 福岡小学校
 施設全体の延べ床面積 木造2階建て 4,369m²
 竣工年月日 令和5年7月7日

当施設は、清流の国ぎふ森林・環境税を活用して建てられています。

岐阜県材96%
中津川市産材65%

岐阜県内においてもこれだけの実績はないと各方面から評価

21

土岐市立濃南小学校 $0.16\text{m}^3/\text{m}^2$

亀山市立関中学校 $0.20\text{m}^3/\text{m}^2$

約380m³/2,345m²

約580m³/2,908m²

22

ふくおか小学校 $0.26\text{m}^3/\text{m}^2$

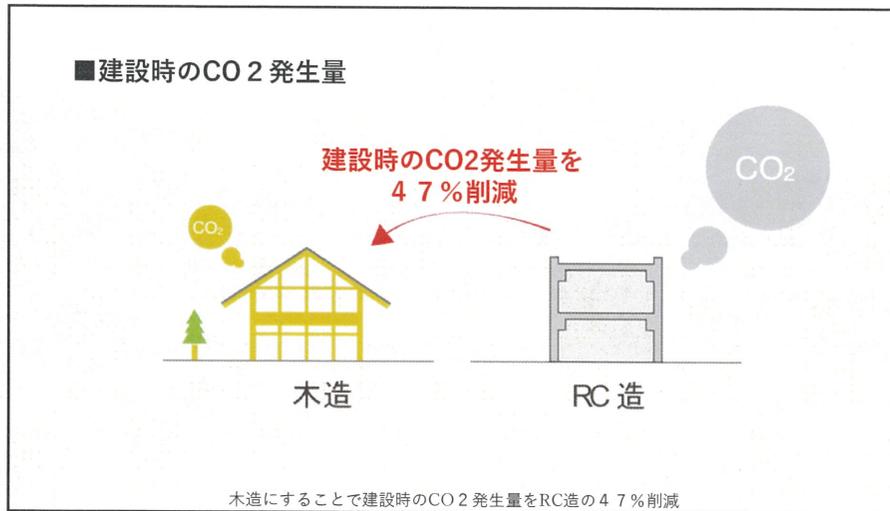
1,124m³/4,300m²

23

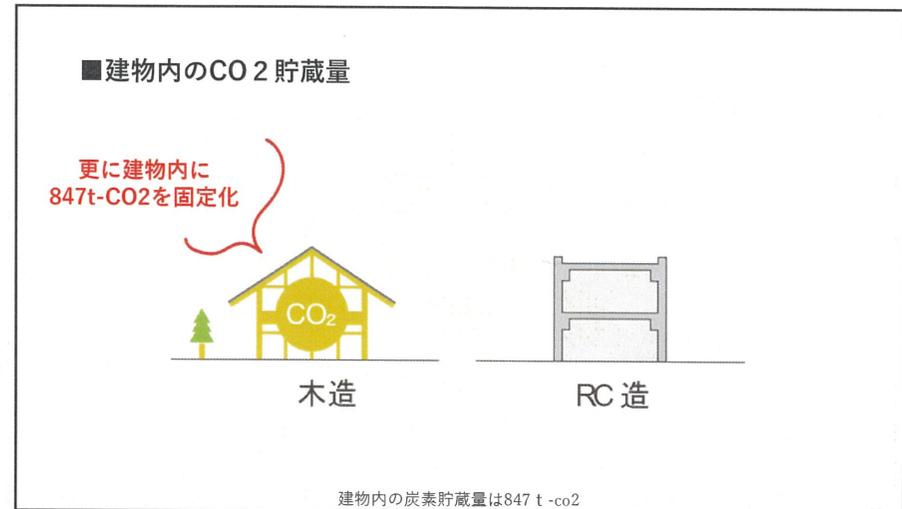
先行調達

- ・地元でどれくらい木材量が流通しているか。
- ・どのような流通が現状あるか。
- ・流通を活かした公共事業に活用できるか。
- ・流通している材の大きさが事業にマッチするか。
- ・調達スケジュールと建設スケジュールが成立させられるか。
- ・補助金の種類、併願等ができるか。

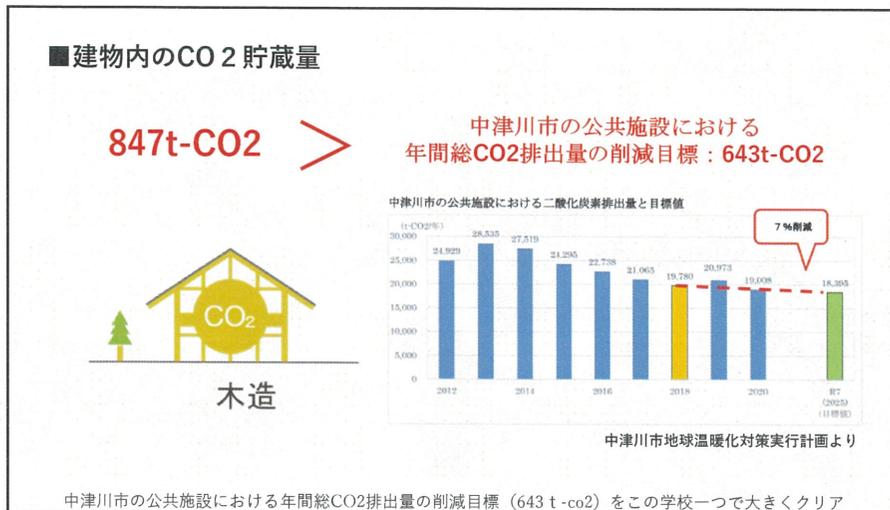
24



25



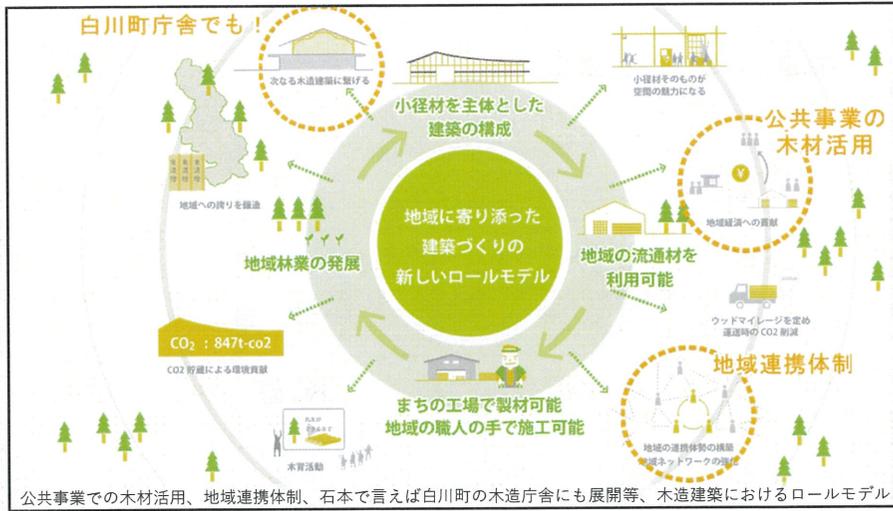
26



27



28



29



30



31



32



見渡す限りの山の重なりと周辺の緩やかな稜線を描く風景

33



この敷地に1枚の大屋根を優しく架けることで、周辺に呼応しつつも新しい風景ができないか

34



計画地はもともと中学生と市民に親しまれていたグラウンドゴルフのできる松林公園が広がっていた
プロポーザル時からこの森をどう活かすか、小中一体校としてどのように建物を配置するかが焦点

35



松林公園を最大限残すこと、中学校の校舎と連携を考慮したL字型の建物配置

36



49



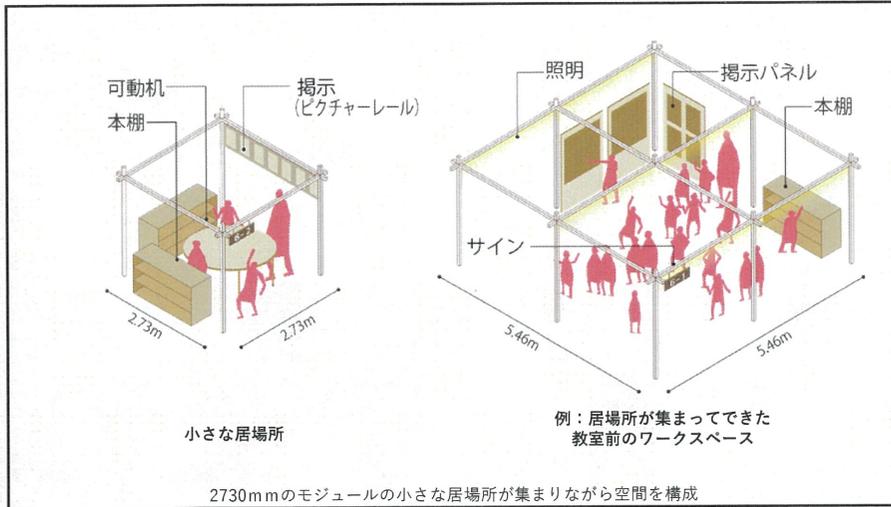
50



51



52



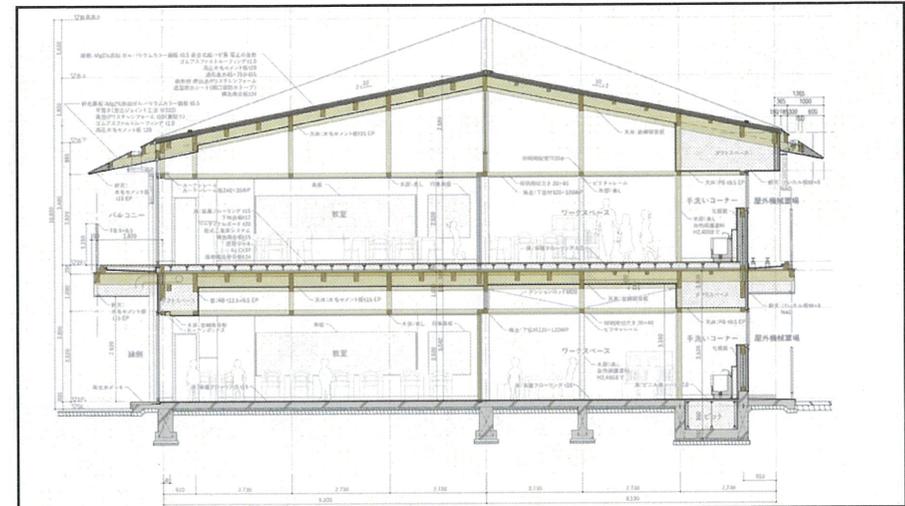
53



54



55



56



57



58



59



60



61



62



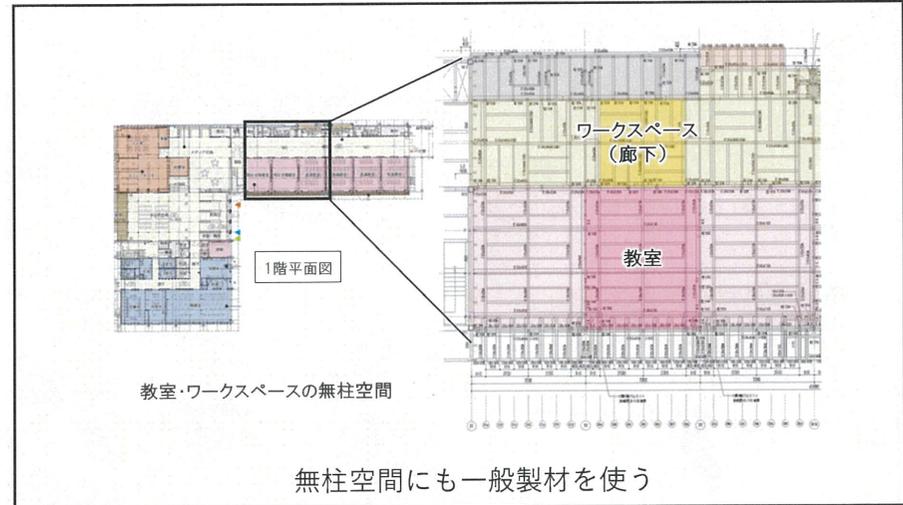
63



64



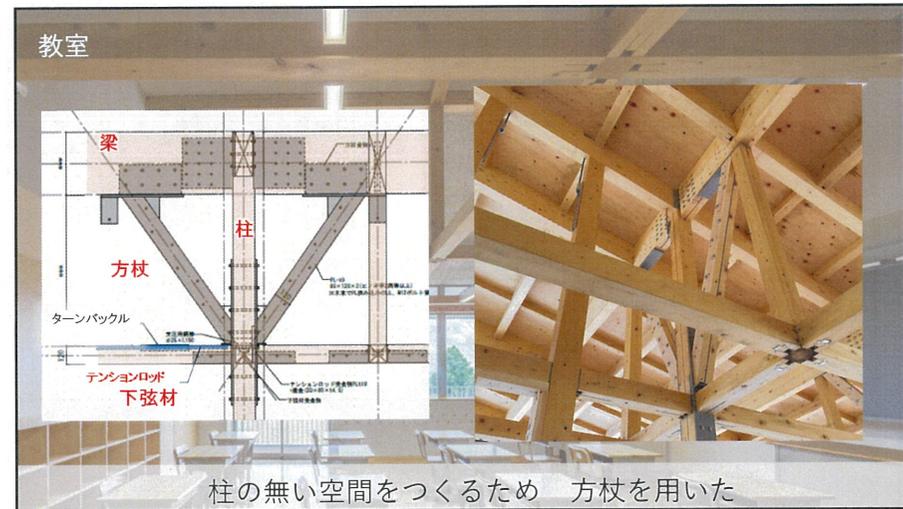
69



70



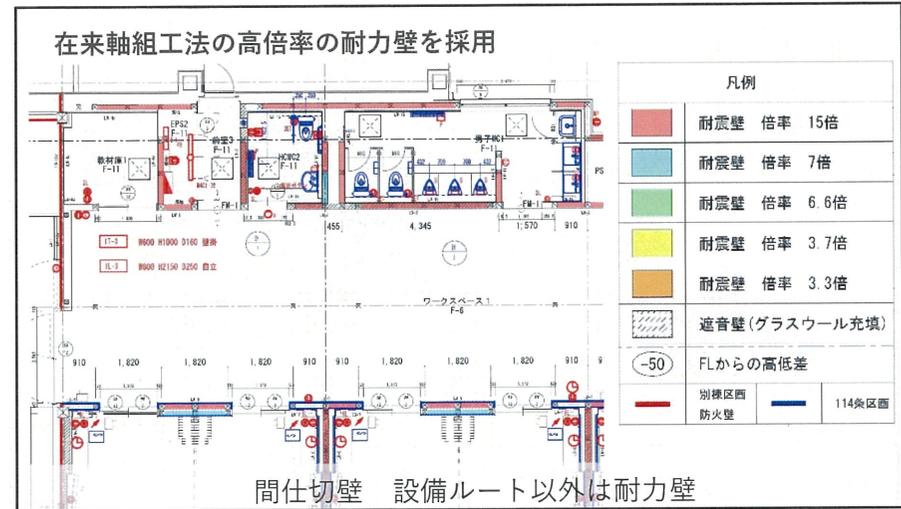
71



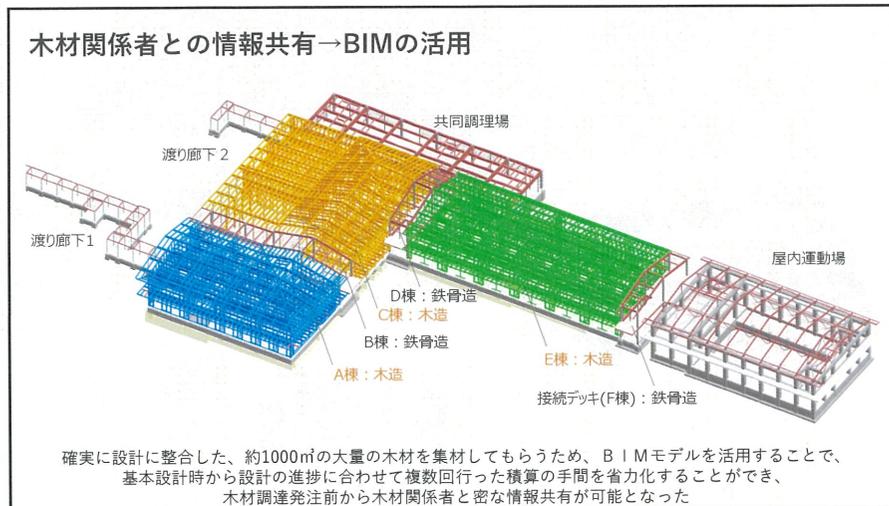
72



77



78



79



80



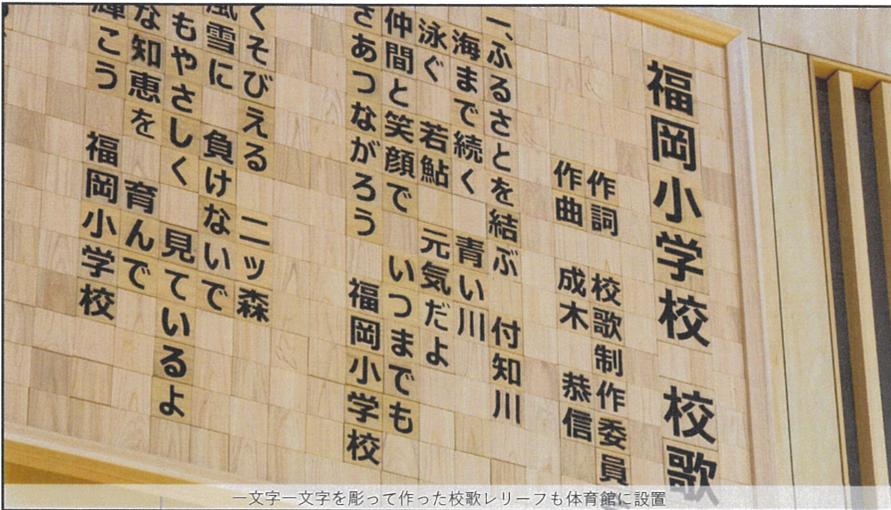
工事期間中に4つの小学校の子どもたち全員での見学会

81



プレカットで残った端材を使って子どもたちによるコースターづくり

82



一文字一文字を彫って作った校歌レリーフも体育館に設置

83



これだけの量の木材を先行調達して建設工事を終えた事例はないとのこと
地方自治体の行政担当者が集まる講習会にも講師役として呼んでいただき、これら取り組みを発信

84



85



86



87



88

「ふるさとを愛する子ども」を育む、記憶に残る豊かな学校づくり



89



90

